

1 令和7年度岩手県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

（1）日程案

	日時	研修課程	会場
講義 ・ 演習	9月11(木)～12 日(金) 9:00-17:00	[講義] 1 強度行動障害がある者の基本的理解 2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の 基礎的な知識 [演習] 1 基本的な情報収集と記録等の共有 2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解 3 行動障害の背景にある特性の理解	盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手

日時及び会場は変更する場合があること。

（2）研修内容

- 1 強度行動障害がある者の基本的理解 [講義] (1.5時間)
 - ①強度行動障害の理解
支援の基本的考え方、強度行動障害の状態、行動障害が起きる理由について学ぶほか、障害特性への理解を深める。
- 2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識 [講義] (5時間)
 - ① 研修の意義
障害者虐待防止法について学び、「虐待がなければ、行動障害のある人は幸せになれるのか。」「行動障害のある人と私たちの「幸せ」との共通点は何か？違いは何か？」「何を指して支援すべきか。」といった点について学習する。
また、講師の実体験を踏まえた講義を実施して、本研修の意義を理解する。
 - ② 支援のアイデア
本人の特性に基づいた支援を整えることにより、強度行動障害の状態になることを予防する支援を行うことが可能となることを学ぶ。
 - ③ チームプレイの基本
強度行動障害の状態にある方への支援は、本人のライフステージにおいて関わる支援者が、本人を中心としたチームの一員として、同じ方針に沿った統一的な支援をすることが大切である。また、支援現場で統一した支援を提供するために、サービス等利用計画や個別支援計画に基づいた「支援手順書」や「支援記録」が大切であり、それらの作成や情報共有の方法について学習する。
 - ④ 実践報告（児童期及び成人期における支援の実際）
実践事例から支援の現状や課題等について学習する。

3 基本的な情報収集と記録等の共有〔演習〕（1時間）

強度行動障害で困っている人の行動は、立場や状況によって様々な定義をすることができる。

本当に困っているのは本人であること、本人の困り感には障害特性が関連しており、関連する行動に注目して情報収集することで本人の情報処理のつまずきに気づくことができることを確認する。また、本人の特性を把握し、適切な環境を提案することが有効な支援のヒントになることを修得する。

4 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解〔演習〕（3時間）

① チームプレイの基本

ア 同じ支援に関わる支援員全員が統一された支援を提供することで、本人が落ち着いて活動することができることを修得する。

イ 支援の様子を、的確に記録し反映することで、次につながる支援記録を残すことを修得する。

ウ 行った支援を的確に引き継ぎ、同じ質を担保しながら、さらに良い支援を組み立てていくための職場内の連携を修得する。

エ 支援手順書や環境調整のアイデア、目で見えてわかりやすい手がかりの使い方を体験する。

② 強度行動障害の理解

強度行動障害は本人が強い困惑を感じ、その解決策が見出せないまま、もがいてる状況と考えることもできる。私たち支援者がどんな困惑を感じさせてしまっているのか、強度行動障害の状態にある方々の立場になって体験し、強度行動障害への理解を深める。

5 行動障害の背景にある特性の理解〔演習〕（1.5時間）

本人が表す行動について、支援者がその行動の背景にある理由が分からないため、自分なりの解釈をし、その結果として誤った対応を行ってしまうことがある。このことから、行動の背景について考え、行動が起きている理由を整理する考え方を習得する。

2 令和7年度岩手県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）

（1）日程案

	日時	研修課程	会場
講義・演習	11月6日（木）～ 7日（金） 9:00-17:00	[講義] 1 強度行動障害がある者へのチーム支援 2 強度行動障害と生活の組み立て [演習] 1 障害特性の理解とアセスメント 2 環境調整による強度行動障害の支援 3 記録に基づく支援の評価 4 危機対応と虐待防止	盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手

日時及び会場は変更する場合があること。

(2) 研修内容

- 1 強度行動障害のある者へのチーム支援 [講義] (3時間)
 - ① 支援を組み立てるための基本
基礎研修で学んだことが支援の基本となるため、その振り返りを行うとともに、支援を組み立てるための基本的な流れについて理解を深める。
 - ② 組織的なアプローチへの理解
組織として支援を行っていくために必要な視点等について学習する。
- 2 強度行動障害と生活の組み立て [講義] (0.5時間)
実践事例からチームによる支援の現状や課題について学習する。
- 3 障害特性の理解とアセスメント [演習] (3時間)
支援者が統一した支援を実施するために必要な、障害特性に合わせた支援手順書を作成するための根拠となるアセスメントの方法について学ぶ。

<ul style="list-style-type: none">・障害特性に基づくアセスメント・冰山モデルについて・行動が現れている環境や状況を整理する	<ul style="list-style-type: none">・課題となる行動の確認・本人の特性を整理する・必要なサポートを整理する
--	---
- 4 環境調整による強度行動障害の支援 [演習] (3時間)
支援者が統一した支援を実施するために必要な、障害特性に合わせた支援手順書の作成方法を学ぶ。
- 5 記録に基づく支援の評価 [演習] (1.5時間)
PDCAサイクルで支援を改善していくために必要な、記録に基づく支援手順書の修正方法を学ぶ。
- 6 危機対応と虐待防止 [演習] (1時間)
関係機関(医療機関等)との連携の方法について、実践事例から福祉と医療の連携の現状や課題について学習する。